

事務事業名		牛アカバネ病予防接種事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 農業経営の安定化					01	06	01	04	04
根拠法令											
所属	部課名	農林水産部 農林課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	係名	農政係	電話	27-3111							
			内線	344							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
・牛のアカバネ病予防接種料金を一部助成する事業。アカバネ病は、蚊によって媒介される病気で、仔牛に奇形が生じてしまうため、蚊が繁殖する梅雨時に雌牛に毎年予防接種をする必要がある。国で決められた疫病であり、県の指導で毎年接種が義務づけられている。 ・主な業務は、①農協からの実施計画書提出、②市の台帳と農協の台帳とのすりあわせによる頭数確認、③庁内での予防接種承認、④農協への決定通知送付、⑤農協からの予防接種実績確認、⑥助成金の支払い。 ・事業費は予防接種の助成金として支出される。一頭当たり接種費用は1,650円で、市が400円、農協が600円、個人負担が650円となっている。						総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計(A)	0		
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段 (主な活動)		名称 単位	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 助成対象頭数 頭	
①農協からの実施計画書提出、②市の台帳と農協の台帳とのすりあわせによる頭数確認、③庁内での予防接種承認、④農協への決定通知送付、⑤農協からの予防接種実績確認、⑥助成金の支払い。		イ 助成実施頭数 頭	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様。			
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		(6) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
市内で雌牛を飼育する畜産農家。		名称 単位	
		カ 雌牛飼育畜産農家数 戸	
		キ	
		ク	
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
毎年必ず予防接種を受けてもらうことで、牛アカバネ病を予防する。		名称 単位	
		サ 予防接種率 %	
		シ	
		ス	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
農産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	単位						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	104	116	124	124	110	9
	事業費計 (A)	千円	104	116	124	124	110	9
	人件費	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20
	人件費計 (B)	千円	80	80	80	80	80	80
トータルコスト(A)+(B)		千円	184	196	204	204	190	89
⑤活動指標	ア	頭	300	333	345	345	300	250
	イ	頭	261	290	310	310	275	225
	ウ							
⑥対象指標	カ	戸	97	87	77	74	74	58
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	%	87	87	90	90	92	90
	シ							
	ス							

事務事業ID	0519	事務事業名	牛アカバネ病予防接種事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和63年に県内で数百頭の雌牛がアカバネ病を発症したことで開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

県内では予防接種の未収が発生しているようであるが、幸い本市では未収はない。

22年度

本市で1件、アカバネ病の発症が確認されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

本病の蔓延は畜産農家の経営に甚大な影響を与えることから、生産者、農協から継続してほしいという要望がある。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・アカバネ病により、仔牛に奇形が生じると、畜産農家の経営に重大な影響を及ぼすことになる。予防接種による未然処置は、畜産農家の経営安定につながり、市の農業振興を推進する。
	② 公共関与の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・国で決められた疫病であり、県で予防接種の指導がある。ただし、助成金については、県内でも実施している自治体が少ないことから、見直しも検討できる。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・市内で雌牛を飼育する畜産農家を対象に、予防接種を受けてもらうことで、牛アカバネ病を予防する事業であり、対象、意図とも妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・予防接種率は現状90%であり、牛の入れ替え等があることから実務上100%にすることは難しい。しかし、農協と密接に連携し、飼養農家の状況を常に把握することにより、100%に近づけることは可能である。今年度市内で1頭の発症があり、今後さらに事業の周知徹底を図り、アカバネ病の予防を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・助成金を廃止(縮小)すると、市農協及び畜産農家の負担が増すと考えられ、予防接種率の低下につながる懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・類似事業はなく、統廃合や連携はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・助成金については、県内でも実施している自治体が少ないことから、助成金額の見直しなど、事業費削減の余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・助成金支出事務にかかる担当者の人件費のみであり、削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・大船渡市は1頭当たり400円の助成を行っているが、県内のほとんどの市町村では行政の助成はない。合併前には、旧大船渡市では実施していたが、旧三陸町では実施していなかった。

事務事業ID	0519	事務事業名	牛アカバネ病予防接種事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 予防接種への助成事業であるが、県内でも助成を実施している自治体は少なく、事業費削減の余地はある。 しかし、事業費削減あるいは廃止をすることにより、農家の負担増となり、予防接種率の低下が懸念され、今年度以降も発症の危険性があるため、市として助成を継続することが妥当である。																			
① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・助成金については、県内でも実施している自治体が少ないことから、検討の必要あり。 ・農協との連携により、予防接種率の向上を図る必要がある。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持	●		×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・市が助成をやめると、同様に助成をしている市農協にも影響を及ぼす。検討する場合は、市農協も加える必要あり。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|--|----------------------------------|
| ① 目的妥当性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |

(3) 評価結果の根拠と理由

平成22年度に市内で1頭の発生があったことから、畜産農家の経営安定を図るためにも、予防接種は必要である。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- | | | | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--|
| ☐ 廃止 | ☐ 休止 | ☐ 目的再設定 | ☐ 事業統合・連携 | ☒ 現状維持 |
| 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) | | | | |

(上記方向性に対する具体的な内容)
 現状どおり継続して事業を実施する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○	●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項